

南極ってどんなところ？どんな生きものがいるの？
当館初！南極の興味深いお話！

9月20日(土)に天文セミナー「美しき南極の旅～すてきな星空といきものたち～」が行われました。講師は、極地の動植物について研究をされ、日本南極地域観測隊にも参加された田邊優貴子先生です。



南極の自然や生き物について、田邊先生の実体験にもとづくお話や写真、映像を通して知ることができ、みなさん大変興味深く

←田邊優貴子先生

聞いていました。今回を通して、南極が身近なものになったのではないのでしょうか。

お話の中でも、生き物の生態、特に湖の中に見られる「コケボウズ」についての印象が強かったようで最後の質問コーナーでもそれらに関するものが多かったです。

また、南極の氷もあわせて展示を行いました。実際にふれることがめったにないこともあり好評でした。



南極の氷も体験館に登場！↑

こちらは初企画！！

プラネタリウムで演劇！？

10月11日(土)にシアトリカルプラネタリウム「雑貨団・ディスカバ〜る！」が開催されました。出演は「雑貨団」というアーティストチームで、全国のプラネタリウムをまわっているそうです。

今回の演目は記念すべき30回目ということで、その千秋楽が当館のプラネタリウムで行われました。出演者はわずか4人でしたが、登場人物は10人以上という多彩な構成でした。お笑いあり、ドタバタあり、でもちゃんと天文の要素を盛り込んだストーリーになっていて…。プラネタリウムという空間を、フルに活かしたお芝居がとても新鮮で楽しいものでした。

今回の演劇は、プラネタリウム初の試みでした。今後も様々なことにチャレンジしていきます！



中学・高校生へ大学生がサイエンスショーをレクチャー
化学マジックでわくわく♪

10月13日、サイエンススクール学習会を開催しました。愛知教育大学 戸谷教授と学生のみなさん(写真:上)が、危険とされている化学をテーマに、実験の方法、注意点など解説を加えながらサイエンスショーをしました。教わるのは、12月14日、「サイエンススクール」に

♪出場する中学・高校生のみなさんです。空き缶にかぶせたプラカップを飛ばす「ロケット」、花火の原料となる金属を燃やす「炎色反応」、冷たい光「ケミカルライト」、手のひらに載せた魔法の綿に火をつける「瞬間消滅(写真:下)」と、音や目でドキドキわくわくできる実験の紹介でした。



天文トピックス
はやぶさ2の打ち上げは11月30日



イラスト:池下章裕

2010年に話題になった小惑星探査機「はやぶさ」の帰還。小惑星イトカワから微粒子を地球に持ち帰った話はみなさんもよく知っていると思います。あれから4年がたちました。そして、「はやぶさ」で培った世界最先端の技術を受け継ぐ「はやぶさ2」がいよいよ11月30日13時24分48秒に種子島宇宙センターから打ち上げられます！

目指す次なる天体は「1993JU3」です。前回同様、小惑星の石や砂などのサンプルを持ち帰り、2020年の地球帰還を目指しています。また、人工的にクレーターを作り、地中の岩石のかけらを持ち帰るといった新たなチャレンジも行う予定です！

詳しくはJAXAの「はやぶさ2」特設サイトをチェックしてね！みんなで応援しよう！

詳しくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.toyota-kagakutaikenkan.jp>

管理・運営：公益財団法人 豊田市文化振興財団



とよた科学体験館 (産業文化センター内)
〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-25
TEL (0565)37-3007/FAX (0565)37-3012